



## 2/28 空家等及び古民家の活用に関する連携協定を締結

空家や古民家を活用し、移住定住の促進や地域活性化などの推進を行うため、(一社)古民家再生協会岐阜西濃と「空家等及び古民家の活用に関する連携協定」を締結しました。吉田代表理事は「空き家などを有効活用し、持続可能で魅力的なまちづくりに尽力したい」と話されました。

締結式終了後に行われた対談では、(一社)全国古民家再生協会の顧問である井上幸一さんが「まちづくりは地域の住民や民間事業者と共に進めていくことが大切。循環型社会の実現や『普請』という考え方が、今後ますます重要になってくる」と話され、早野町長は「従来の『壊して、造る』という概念から脱却し、『あるものを最大限活用』して、未来のまちづくりを進めていくことがSDGsの観点からも必要である」と述べました。



▶ 吉田代表理事(右)



## 3/13 旧庁舎のガレージを自由に落書き



旧庁舎の一角を利用し、子どもたちが壁や地面などに自由に落書きをするイベント「みんなのウォールアート TARUI(垂井町提案型地域活性化事業)」が開催されました。このイベントは、今年度に取り壊しが予定されている旧庁舎の最後の思い出づくりになればと、町内在住などのデザイナーらでつくる「IDoPLACO(イドプラコ)」が企画。参加者は、ペンキやチョークなどで思い思いに絵や文字を描き、会場は、子どもたちの笑顔とアートであふれていました。

## 3/8 被災地での支援活動に貢献



昨年7月の静岡県熱海市土石流災害に隊員を派遣し、被災地での支援活動に貢献されたことに対して、早野町長から不破消防組合へ消防庁長官賞が手渡されました。また、緊急消防援助隊として出動した隊員6人には活動章が手渡されました。

町長は「いつ災害が起きるか分からないため、日頃から訓練に努めてもらい、まちの安全安心を守っていただきたい」と話されました。

3/16

## 卒業記念 等身大の自分を作ったよ



宮代こども園の5歳児が段ボールを使い、等身大の自分を作りました。自分の形に切り抜いた段ボールに、いろいろな柄のロール紙で服を着せると、おしゃれな自分が完成。「手や足はどこから出てるかな？」など自分の身体をよく観察して作ることによって、園児らは身体の全体像を知ることができました。コロナ禍により、人数制限されて行われた卒園式にも一緒に登場し、会場に華を添えました。

3/15

## 命を守るシートベルト



スクールセーフティ事業が原小学校で開催され、4～6年生の児童が自動車の衝突体験を行いました。児童らは、県や垂井警察署、JAFの人から交通安全やシートベルトについての講話を聞いた後、シートベルト着用効果体験車に乗り、時速5キロで衝突する時の衝撃を体験。想像以上の衝撃にびっくりした児童は、後部座席もシートベルトの着用が必要なることを学びました。

## 小さな行動が 未来につながる ～今すぐできる 私のSDGs～



今月の取り組みさん

安住 真由子さん

Profile

宮代にある古民家の一角で美容院 le cocon(ルココン)を営む。植物を使った環境に優しい手法で髪を整える美容師さん

私が実践するSDGsは、髪も体も、地球もキレイをモットーに、お客様の髪を施術する(癒やす)こと。シャンプー・リンスを使わず、お客様一人ひとりに合わせて、植物を調合して髪を洗い整えます。また、髪染めも植物を使用。自然の恵みを余すことなく使い、人にも地球にも優しい美容法を提案することは、美容師の役割だと思って楽しんでいます。

あなた実践する、簡単なSDGsを教えてください。

問 企画調整課 地域振興係 ☎22-1152

3/16

## 中学校生活を後輩へ紹介



北中1年生が府中小と岩手小の6年生とタブレット端末を活用し、オンラインで交流しました。生徒らは、学校生活や行事などについて英語で紹介し、中学校生活の楽しさを伝えました。その後、小学生から中学生になるまでにやっておくといいことなど質問されると、優しく回答し入学への不安を取り除いていました。先輩からの語らいにより、中学校生活への期待を感じられる1日となりました。